

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	高齢者団体支援事業	担当課・係名	福祉課高齢福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	26
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	老人クラブの交流活動、奉仕活動、友愛活動に参加することで、高齢者の介護予防や生きがいのづくりを増進 高齢者の雇用を促進し福祉の増進を図る団体である大磯町シルバー人材センターに補助を行い、高齢者福祉の向上を図る				
対象 (誰を・何を)	大磯町老人クラブ連合会、大磯町シルバー人材センター				
内容	<ul style="list-style-type: none"> 大磯町老人クラブ連合会 交流活動、奉仕活動、友愛活動等を通じた、高齢者の生きがいと健康づくりを行なう活動に補助を実施する。 シルバー人材センター 運営費に対する補助として、事務局人件費に対して補助金を交付する。 				
根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> 大磯町老人クラブ連合会事業費補助金交付要綱 大磯町シルバー人材センター運営費補助金交付要綱 				
執行体制	<input checked="" type="checkbox"/> 町職員実施 <input type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,480	3,390	3,330
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円	595	569	569
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	885	2,761	2,761
	職員人数 (概算職員数)	人			0.36
	人件費計 (b)	千円			2,206
総事業費 (a)+(b)	千円	1,480	3,390	5,536	
事業費内訳 H 25 年度	負担金補助及び交付金：3,330千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 大磯町老人クラブ連合会会員数	人	1,361	1,265	1,250
	② 大磯町シルバー人材センター会員数	人	118	145	150
活動指標 (活動量)	① 老人クラブ連合会奉仕活動等活動回数	回	25	25	25
	② 大磯町シルバー人材センター就業率	%	65	64	73
成果指標 (達成度等)	① 老人クラブ連合会奉仕活動等活動回数	回	25	25	25
	② 大磯町シルバー人材センター受託額	千円	44,666	64,222	70,000

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	老人クラブ連合会：運営及び活動は全て単位クラブ又は連合会で実施しており、妥当。 シルバー人材センター：高齢者の就業機会の確保と生きがい対策のために妥当。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	老人クラブ連合会：高齢者の生きがいづくりのための支援として、補助は妥当。 シルバー人材センター：町業務の委託数増加など支援を行っているが、収益性が低く、運営が安定するために、町からの事業費補助は必要。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input type="checkbox"/> 得られている <input checked="" type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	老人クラブ連合会：自主的な活動を通じ、社会貢献と高齢者の生きがいづくりに貢献している。 また、町行事への参加も積極的におこなっている。 シルバー人材センター：会員数、受託額ともに順調に成長している。
効率性	・コストに対して効率的か	<input type="checkbox"/> 効率的 <input checked="" type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	老人クラブ連合会：運営、事業実施は連合会が実施しており、効率的。 シルバー人材センター：事務局の人件費に対して必要分を補助している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	老人クラブ連合会：高齢者が増加する中で、活発な活動を支援するために補助の継続が必要。 シルバー人材センター：必要分を補助しており、削減は見込めない。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 老人クラブ連合会は、ボランティア活動や自主活動を通じて高齢者の生きがいづくりに貢献しており、活動の支援が引き続き必要。シルバー人材センターは、就労の機会の提供と就労による社会貢献の機会を支援する必要があり、引き続き支援が必要

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み 老人クラブ連合会：高齢化社会の中で、会員を増やすことで活動を活発にし、介護予防や高齢者の生きがいづくりに積極的に取り組む。 シルバー人材センター：事業が成長していくように必要な助言を行うとともに、財政運営に関して注視する必要がある。
② 平成26年度に着手する事項 老人クラブ連合会：単位クラブを全ての地域におくことができるように、積極的なPR活動を行なう。 シルバー人材センター：事業の規模が拡大してきているため、事務局の規模が適切であるか精査し、補助金額の見直しを図る。
③ その他（課題、調整事項等） なし。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

老人クラブ：高齢化が進む中で、会員増や単位クラブ数が増えるようなPR活動を支援する。 シルバー人材センター：高齢者の就労支援や生きがいづくりのために重要な役割を果たしている団体であり、適切な経営ができるように、事務局より運営状況報告を毎月受けており、経営状況の把握を行うとともに、助言・指導を行っていく。
